

スマイルエイジングパーク 須恵健康公園に健康遊具設置

SCENE 1



感謝状を受け取る石田清廉会長

すえけんDEウォーキング

スマイルエイジングパーク事業の一環として、須恵健康公園に健康遊具を7基(内2基は小野田ライオンズクラブからの寄附)設置し、ウォーキングコースとなる園路を部分改修しました。12月25日、お披露目式を開催し、小野田ライオンズクラブへの感謝状贈呈、健康遊具の紹介、テープカット等を行いました。式典後には、スマイルエイジングパーク完成イベント「すえけんDEウォーキング」が開かれ、参加者は正しい歩き方等を学んだ後、園路でウォーキングし、健康遊具を使って体を動かしました。スマイルエイジングパークを運動と交流の拠点として、健康寿命の延伸を目指しましょう。



SCENE 2 サポート寄附で市を支援 全日本オートレース選手会

山陽オートレース場で12月20日、(一社)全日本オートレース選手会山陽支部の角南一如支部長から、選手会の有志のみなさまからのサポート寄附(ふるさと納税)150万円をいただきました。角南支部長は「コロナ禍で大変な1年だったが、地域活性化に役立ててほしい」と話しました。



SCENE 3 食事時の飛沫を防止 飛沫シャッター寄附採納式

食事中の飛沫を防止し、新型コロナウイルスの感染を防ぐことを目的に医療法人永孝会が飛沫シャッター「KOKOROZUKAI」を開発。12月21日、10万枚の寄附を同会からいただきました。八丁裕次理事長は「飛沫シャッターを活用して、食事を安心安全に楽しんでほしい」と呼びかけました。